

# 三重県総合文化センター情報誌 news

エムニュース

5台ピアノ「ピアノ・ツィルクス」が再び三重県に集結!

Vol.  
**139**

2022. 10-12

特集

三重県文化会館Produceシリーズ vol.11  
**5台ピアノ ピアノ・ツィルクス**  
新曲解説&ピアノ・ツィルクスからのメッセージ




ME CENTER FOR THE ARTS  
三重県総合文化センター

— サークラスへようこそ。 —



**11/12【土】** **大ホール**  **U30割**  
三重県文化会館Produceシリーズ vol.11  
**5台ピアノ ピアノ・ツィルクス**

14:00開演(13:30開場)  
全席指定 一般2,000円、30歳以下1,000円  
■三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122

協賛:株式会社日晴ハイウエー  **NSHO**  
NISHIMAWA

- 02.03 5台ピアノ ピアノ・ツィルクス
- 04 イベントインフォメーション 10月、チケット発売日情報
- 05 イベントインフォメーション 11・12月
- 06 カルルク! 気軽に楽しむ文化のレクチャー
- 07 Znews 文化交流ゾーンインフォメーション
- 08 主催事業ピクチャツプ 10~12月

# 「楽器の王様」と呼ばれるピアノ

三重県総合文化センター(そうぶん)ではベーゼンドルファー、スタインウェイ(2台)、ヤマハ、カワイといった世界を代表するピアノメーカーのフル・コンサート・グランドピアノ5台を所有しています。

2020年、そうぶんではそれらのピアノが5名の実力派(個性派)ピアニスト集団「ピアノ・ツィルクス」によって演奏され、圧倒的な音圧と深く豊かな響きにたくさんの方が魅了されました。

あの時の感動をもう一度皆さまにお届けすべく、「ピアノ・ツィルクス」が再び三重県に集結します。

このコンサートのために書き下ろされた新曲も発表! 今回の特別プログラムの作・編曲者に聴き所を伺いました。



加藤さん、駒井さん。今回の注目ポイントを教えてちょ。

加藤昌則 作曲家・ピアニスト

新曲「Five kings」作曲

「5台ピアノで歌う『イタリアオペラメドレー』」編曲担当



ピアノが5台! これ、普通じゃありません。(笑)  
だから普通のことも面白くないなと思って、何しようかなって考えたんです。そもそもピアノは3台以上になると最早、誰がどれ弾いているのかわからないカオスになる印象が僕にはあって、そしたらそれぞれが個性を主張するのがいいだろう、個性ってどうしたら発揮できる!? 確かに今回の奏者だってそれぞれに個性的だから別に何もしたって…いや、そういう意味じゃなくて、それぞれのパートの音楽を個性的にしないとイケないよな、ではそれにはどういうアイデアがいいだろう…「ピアノは『楽器の王様』と言われるから…」「そうか! それぞれのパートを独立した音楽にしちゃって組み合わせたらいいんだ!!」というのが、今回の新作のそもそもの発想です。

5人の個性的な王様が集う、賑やかな宴とでも言いましょうか。そしてオペラメドレーも、それぞれを一人のオペラでの役柄に仕立てて、アリアを独唱するように、ピアノで歌ってもらおうと思いました。誰かはソプラノ歌手になり、誰かはテノール歌手の様に。5台のピアノ、5人の個性、一人で、二人で、数人で、混ざり合う個性と音楽をお楽しみ頂ければ幸いです。

東京藝術大学作曲科首席卒業、同大学大学院修了。作品はオペラ、管弦楽、声楽、合唱曲など幅広く、作品に新しい息吹を吹き込む創意あふれる編曲にも定評があり、多くのソリストに楽曲提供、共演ピアニストとしても評価が高い。王子ホール「銀座ぶらっとコンサート Caféシリーズ」(企画・ピアノ)、東京・春・音楽祭「ベンジャミン・ブリテンの世界」(企画・構成)、「日生劇場ファミリーフェスティバル」(作編曲・構成)など、独自の視点、切り口で企画する公演やクラシック講座などのプロデュース力にも注目を集めている。作品は2012年オペラ「白虎」(第11回佐川吉男音楽賞)、2018年「Sixteenth Montage」(セントラル愛知響委嘱作品)ほか、数多くの作品を発表。NHK2020応援ソング「パブリカ」の合唱編曲も手掛けている。最新CDは2017年発売「PIANO COLOURS」(エイベックス・クラシックス)。2016年よりNHK-FM「鍵盤のつばさ」番組パーソナリティーを担当。2019年より長野市芸術館レジデント・プロデューサーを務める。2022年4月、ひらしん平塚文化芸術ホール 音楽アンバサダーに就任。

オフィシャルウェブサイト [www.masanori-music.com](http://www.masanori-music.com)

駒井一輝 作曲家・サウンドクリエイター

「ラブソディ・イン・ブルー」「木星」「ボレロ」

「亡き王女のためのパヴァーヌ」編曲担当



5人全員がピアニスト!? この珍しい編成の編曲委嘱を受けたとき、驚きとワクワクが共存していたのを覚えています。1台でもオーケストラに匹敵すると言われるピアノが5台。衆力功ありと言いますが、音が伸ばせない、重ねても音色が変わらない、など弱点も共有しています。

それをどのような工夫で解決したのでしょうか?

ボレロは、2種類の旋律が執拗に繰り返される楽曲です。本来ならば楽器の組み合わせを変えて変化を作るところですが、今回は全てピアノのため、声部をただ組み換えるのではなく、音を印象で捉え、本物のオーケストラと同じ印象になるように再構築するような編曲を心がけました。

またメロディ・オスティナート・伴奏・ベースの役割が、中央の奏者から順番に巡るように構成しています。ラブソディ・イン・ブルーも同じく、ピアノソロが全奏者に振り分けられています。奏者の違いやピアノの配置によって、同じ役割でも違った印象となるのは、この編成ならではのと思います。是非体験してみてください。

1991年 北海道札幌市生まれ。幼少期よりエレクトーンを始め、その後作曲にも興味を持つ。東京藝術大学を経て、同大学院音楽研究科 音楽文化専攻(音楽音響創造分野)修了。在学中はルチアーノ・ベリオを中心とし、現代音楽分野の研究をする傍ら、室内アンサンブルやライブ・エレクトロニクス作品の制作を行う。現在は京都市に移住し、ゲームサウンドクリエイターとして、作曲、編曲、レコーディングディレクションを務めている。これまでに、株式会社ウィングスコアより吹奏楽作品が出版されているほか、オーボエ四重奏団「上野チャルメラ」への作品提供・映像制作プロデュースを行っている。特殊編成など演奏会のコンセプトに合わせたアレンジを得意とし、公益財団法人ソニー音楽財団、いわき芸術文化交流館アリオス、新潟市民芸術文化会館りゅーとびあ、三重県文化会館など、各種団体からの委嘱もを行っている。

## ピアニスト集団「ピアノ・ツィルクス」

ツィルクスとはドイツ語でサーカスの意。5人のピアニストの合計50本の指が、フル・コンサート・グランドピアノ5台の鍵盤上を激しく躍動し超絶技巧を奏でる姿はサーカスを彷彿とさせる。お互いを知り尽くしたメンバーだからこそなし得る難易度の高い打鍵楽器によるアンサンブルは、一糸乱れず聴衆を歓喜の渦に巻き込む。大ホールに美しく鳴り響く圧巻の5台のピアノは、オーケストラサウンドとは別格の力強さと豊かな表情を持ち、各界から注目され好評を博した。2020年9月の三重公演では大成功を収め、2022年11月に満を持しての再登場となる。

### メンバーからのメッセージ



©岩切 等

#### 白石光隆

「えっ5台! 本当に?」二度見必至の編成、ワクワクするようなプログラム! 大ホールが所有する5台のピアノが再びダイナミックな音の彫刻を築きます。ひと口にピアノと言っても、メーカーが違えば音色も異なるものです。5人でそれぞれのピアノの性格を引き出し、オーケストラやオペラ作品の新たな魅力に迫ります。5人の精緻なアンサンブルによる聴きどころ満載の演奏会。舞台や壁が震え、美音に包まれる特別な瞬間を聴き逃すなんて有り得ない! 極上の音響で設計されたホールに5台のフル・コンサート・グランドピアノが鳴り響くとは奇跡的なことです。多くの方の情熱によって叶いました。皆さまと三重県文化会館の文化をデザインしていきましょう!

東京藝大及び同大学院を修了後、ジュリアード音楽院留学。学内におけるコンチェルト・コンペティションで優勝し、ジュリアード・オーケストラと共演。ソロ、室内楽、協奏曲等音楽性の高さには定評があり、内外の共演者の信頼も厚い。東京藝大、お茶の水女子大非常勤講師。



©Shuhei NEZU

#### 中川賢一

2020年コロナ禍の9月に5台ピアノの演奏会をこの三重県文化会館で演奏した時最初の拍手をいただいた音が忘れられません。そのような大変な中で沢山の三重の皆さんが生演奏の音楽を渴望していたと思えました。オーケストラで奏でられる音を一台で演奏できる「ピアノ」が5台。迫力と繊細さも5倍以上のものを出すことができればと思います。前回全員で出した鐘のような響きがこの素晴らしいホールに広がった瞬間が忘れられません。このホールで演奏するのが待ち遠しいです。あの時の三重の皆さんに感謝を込めて精一杯演奏致します。皆様と再会できるのを楽しみにしております!

桐朋学園大学音楽学部卒業後、アントワープ音楽院首席修了。1997年ガウデアムス国際現代音楽コンクール第3位。NHK-FM、NHKクラシック倶楽部などに度々出演、新曲初演多数。アンサンブル・ノマドメンバー。お茶の水女子大学、桐朋学園大学非常勤講師。オフィシャルウェブサイト <http://www.nakagawakenichi.jp>



©Shigetomo Imura

#### 田村 緑

《5台ピアノが帰ってきます!》2020年9月、三重県文化会館大ホール舞台上に5台のハウスピアノと5人のピアニストが集結しました。お客様の温かい拍手から舞台に立った瞬間、コロナ禍で感じていた不自由な日常から解放されました。5人のハーモニーを通して音楽が舞い踊る大空間に、お客様と共に身を置ける幸せを感じながら演奏に没頭しました。あれから2年、グループ名「ピアノ・ツィルクス」の誕生、6月には合宿練習(@新潟りゅーとぴあ)も始まりました。久しぶりに舞台上に並んだ5台ピアノの姿を見ては惚れ惚れし、ピアノ椅子に座りみんなを眺めては「あ、こんなに遠い!」と思い出しました。そんな距離をも見事に縮めてしまうのが「音」そして「音楽作品」です。音を聴き合い、音を重ね、響きを創って作品に挑みます。永遠の名曲から初演の曲まで、5人渾身の演奏による稀なコンサートです。11月12日、皆さまのお越しをお待ちしております!

英国ギルドホール音楽院卒業、シティ大学院修士課程修了。ICペーターヴェン・ピアノコンクール第1位。その躍動感に満ち、情感溢れる演奏スタイルと、独創的プログラムが注目され、全国各地でコンサート活動を行う。特に普及の分野では先駆者的存在。オフィシャルウェブサイト <https://www.tzmz.net>



#### デュエット かなえ&ゆかり

2年ぶりに三重県文化会館のあの素晴らしい響きの空間で再び5台ピアノコンサートで演奏させて頂けることに心躍っています。今回はこのコンサートのための新曲「Five Kings」やオーケストラの名曲「ボレロ」そして遊び心溢れるユニークなメロディーの「ラブソディ・イン・ブルー」など魅力あふれるプログラムが満載です。5台のフル・コンサート・グランドピアノで奏でる響きは無限大!! 今回はどんな響きを生み出すことができるのか今から楽しみで仕方ありません。「ピアノ・ツィルクス(ドイツ語でサーカス)」の名前の通り躍動感溢れるサーカスのような響きに満ちた演奏にご期待ください! 皆様のご来場心よりお待ちしております。

英国王立音楽院にてピアノデュオ演奏家資格ディプロマを取得。第4回国際ピアノデュオコンクール特別賞毎日新聞社賞を受賞。第3回「Music&Earth 国際器楽コンクール」ピアノアンサンブル部門で第1位受賞。高松市観光大使。オフィシャルウェブサイト <http://www.duettwo.com>



そうぶんが所有するピアノについて、メーカー別に特徴をご紹介します!

**ベーゼンドルファー** 290インペリアル  
L. Bösendorfer Klavierfabrik

#### 現存する最古のピアノメーカー

1828年にオーストリア・ウィーンで創業。他のメーカーと大きく異なる特徴は、ピアノ本体全体を共鳴させる設計で、その構造はヴァイオリン等の弦楽器と類似している。木質的で柔らかく、深い重厚感のある音色も特徴である。数少ない職人が手作業で制作しているため、製造台数は年間300台にも満たない。2008年ヤマハ株式会社からベーゼンドルファーを買収。ベーゼンドルファーが持つ貴重な伝統を尊重するために、ヤマハの完全子会社でありながら、オーストリアの独立企業として業務を継続している。

#### 低音部ピックアップ

他のグランドピアノと違って低音部に黒い鍵盤が9鍵多く配置されており、音域を広げることで、より深い音色が表現できます。



**スタインウェイ** D-274  
Steinway & Sons

#### 125もの特許を取得

1853年創業のアメリカ大手ピアノメーカー(製造はアメリカ・ニューヨークとドイツ・ハンブルク)。職人がひとつひとつ手作業で制作を行っており、その技術を次世代に継承している。高音域が華やかでオーケストラに負けない音量から、ピアノ協奏曲で好んで使用されることも多い。定評のあるピアノメーカーとして多くのピアニストから信頼を得ている。



**ヤマハ** YAMAHA CF3-S

#### 明治20年、135年前に創業された楽器メーカー

静岡県に本社を持つ楽器メーカー。1887年創業。設計にコンピューターが用いられており、個体にばらつきが少ない。職人が伝統を維持しながら製造しているベーゼンドルファーとは対照的に、常にマイナーチェンジが加えられており、進化を続けている。

**カワイ** KAWAI EX

#### 近年の国際コンクールで選定されること多数

ヤマハと同様、静岡県に本社を持つ楽器メーカー。1927年創業。会館で所有するEXの後継機であり、河合楽器製作所の2代目社長「河合滋」の名をとって命名された「Shigeru Kawai」は、浜松国際ピアノコンクールやショパンコンクールなど世界を代表する国際コンクールで多くの出場者が使用したことで近年注目を集める。職人の手作業にこだわり、効率を追求せず手作業工程を増やすことで最高の響きに近づけている。

さらに  
豆知識!



ピアノの設計図は今も改訂されているんだって!  
1979年にイタリアで新しいメーカーが創業されるなど、今も進化を続けているんだちょ。

1 [土]	小椋佳 ファイナル・コンサート・ツアー「余生、もういいかい」 17:00開演(16:00開場) 全席指定 S席7,800円、A席6,500円(前売・当日とも) ◎サンライズプロモーション東京 0570-00-3337(平日12:00~15:00)	復	大 ホール
1 [土]	そうぶんの竹で オーストラリアの楽器ディジュリドゥを作ろう! ①10:00 ②13:30 事前申込制(受付終了) ◎三重県総合文化センター総務部 059-233-1105	主催	多目的 ホール
2 [日]	CD「ディアベリ変奏曲」リリース記念 兼重稔宏ピアノリサイタル 14:00開演(13:15開場) 予定 全席自由 一般3,000円(当日3,500円)、学生1,000円(当日1,500円) ◎兼重稔宏ピアノリサイタル実行委員会 059-224-0198		大 ホール
2 [日]	ピティナ・ピアノステップ 津秋季地区 10:00開演(9:30開場) 予定 入場無料 ◎ピティナTSUステーション 059-225-7882		小 ホール
5 [水]	第367回例会 トム・プロジェクトプロデュース公演「風を打つ」 18:30開演(18:00開場) 会員制 ◎津演劇鑑賞会 059-228-9523(中島)	復	大 ホール
5 [水]	講座ボランティア企画 名盤を聴く第84回 ジュゼッペ・ディ・ステファノー特集 13:30開演(13:00開場) 入場無料 ※事前申込制・先着順 ◎三重県生涯学習センター 059-233-1151	主催	小 ホール
5~9 [水]~[日]	令和4年度 すこやかライブ三重「文化作品展」 9:00~16:30(初日は13:00~16:30) 入場無料 ◎(一財)三重県老人クラブ連合会 059-227-1621		1 ギャラリー
8 [土]	令和4年度 みえ文化芸術祭 第27回 みえ音楽コンクール フルート部門本選 10:30開演予定 入場無料 ◎みえ音楽コンクール事務局 059-233-1112	主催	大 ホール
9 [日]	令和4年度 みえ文化芸術祭 第27回 みえ音楽コンクール 声楽部門本選 10:30開演予定 入場無料 ◎みえ音楽コンクール事務局 059-233-1112	主催	大 ホール
10 [月・祝]	令和4年度 みえ文化芸術祭 第27回 みえ音楽コンクール 弦楽部門本選 10:30開演予定 入場無料 ◎みえ音楽コンクール事務局 059-233-1112	主催	大 ホール
12 [水]	令和4年度 地域防災講演会 13:30開演(12:30開場) 予定 入場無料 ◎(公財)三重県建設技術センター 総務部総務研修課 059-229-5624		多目的 ホール
13 [木]	オンステージコンサート vol.4 ピアノ 田村緑 11:00開演(10:30開場) 全席自由 2,000円 ◎三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122	主催	大 ホール 舞台上

15・16 [土]・[日]	令和4年度 みえ文化芸術祭 第27回 みえ音楽コンクール ピアノ部門本選 10:30開演予定 入場無料 ◎みえ音楽コンクール事務局 059-233-1112	主催	大 ホール
15・16 [土]・[日]	ミエ・演劇ラボ2022×烏丸ストロークロック ホニホニマー舎「超現代」 両日共14:00開演(13:30開場) 整理番号付自由席 一般2,000円(当日2,500円)、22歳以下1,000円(当日1,500円) ◎三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122	16日のみ 主催	小 ホール
15・16 [土]・[日]	末生流津支部80周年記念花展 テーマ「花の道 未来へ」 【15日】10:00~17:00 【16日】10:00~16:00 入場無料 ◎末生流 津支部 059-255-2186		1 ギャラリー
19 [水]	三重のまなび2022 まなびいすどセミナー みんなであたいましよう なつかしいメロディーを 13:30開演(12:45開場) 資料代 300円 ※事前申込制・先着順 ◎三重県生涯学習センター 059-233-1151	主催	多目的 ホール
22 [土]	中井智弥 箏・二十五絃箏リサイタル2022 ~雨夜の月~ 14:00開演(13:30開場) 全席指定 一般3,500円(当日4,000円)、学生1,000円(前売・当日とも) ◎(株)ジャパトラ 03-6785-1660		小 ホール
23 [日]	ヴォーカルアンサンブル《EST》第29回コンサート 創立30周年記念 ~わがいこいうた~ 14:45開演(14:15開場) 予定 全席自由 一般1,500円(当日2,000円)、 大学生1,000円(当日1,500円)、高校生以下750円(当日1,000円) ※未就学児入場不可 ◎ヴォーカルアンサンブル《EST》090-1860-9541(平日昼のみ)		大 ホール
23 [日]	津西 秋の音楽祭 13:00開演(12:30開場) 入場無料 ◎津西地区社会福祉協議会 090-1835-1357		中 ホール
23 [日]	音楽をギター、ピアノで楽しむ会 13:00開演(12:30開場) 予定 入場無料 ◎堀内ギター教室 059-227-9622(堀内)		小 ホール
26・27 [水]・[木]	日本認知症グループホーム全国大会in三重 集え!認知症ケアの未来のために 9:30開演(9:00開場) 予定 【中ホール・講演会】入場料はHP参照 【小ホール・展示】入場無料 ◎(公社)日本認知症グループホーム協会三重県支部 090-7581-5443(坂倉)		中・小 ホール
28 [金]	ハンガリー国立歌劇場 オペラ「魔笛」 18:30開演(18:00開場) 全席指定 S席13,000円、A席10,000円、B席7,500円、C席5,000円 ◎三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122	U30割 復 主催	大 ホール
30 [日]	第21回 K.BALLET CLASSIC 中田バレエスクールコンサート KBC中田バレエスクールコンサート「眠れる森の美女」 14:00開演(13:30開場) 予定 入場無料 ◎K.BALLET CLASSIC 中田バレエスクール 080-3429-2550(中田)		大 ホール
30 [日]	三重県総合博物館MieMuテーマ曲発表イベント 15:00開演(14:30開場) 全席自由 500円 ◎三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122	主催	小 ホール
30 [日]	みえ生涯学習ネットワーク交流会 地域「学」フェスティバル2022 ーいま!再びはじまる!ー 10:00~15:30 入場無料 申込不要 ※一部有料 ◎三重県生涯学習センター 059-233-1151	主催	多目的 ホール他

## チケット発売日情報

<p><b>12/18 [日]</b> 中ホール U30割 CLASS 復 ☺</p> <p>グランプリコンサート代替公演2022 打楽器集団「男群」 14:00開演 全席指定 2,000円</p> <p>シアターメイツ優先予約:10月6日(木) 一般発売:10月9日(日)</p>	<p><b>1/14 [土]</b> 中ホール U30割 復 ☺</p> <p>新春 茂山狂言会 14:00開演 全席指定 S席4,000円、A席3,000円 共催:名張市教育委員会</p> <p>シアターメイツ優先予約:10月20日(木) 一般発売:10月23日(日)</p>	<p><b>1/28 [土]・29 [日]</b> 小ホール ☺ 29日のみ</p> <p>Mゲキセレクション 渡辺源四郎商店「Auld Lang Syne」 両日共14:00開演 整理番号付自由席 一般2,500円 ユース割引あり 共催:一般社団法人進め青函連絡船</p> <p>一般発売:12月3日(土)</p>
<p><b>2/3 [金]</b> 小ホール</p> <p>加羽沢美濃のクラシック音楽講座 作曲家シリーズ ドヴォルザーク編 14:00開演 全席自由 1,500円</p> <p>一般発売:12月11日(日)</p>	<p><b>2/23 [木・祝]</b> 大ホール舞台上 ☺</p> <p>オンステージコンサート vol.5 ピアノ三重奏 Trio Gokokuji 11:00開演 全席自由 1,000円</p> <p>一般発売:11月27日(日)</p>	<p><b>3/5 [日]</b> 大ホール U30割 CLASS 復 ☺</p> <p>三重県文化会館Produceシリーズ vol.12 小菅優ピアノリサイタル 14:00開演 全席指定 3,000円</p> <p>シアターメイツ優先予約:12月1日(木) 一般発売:12月4日(日)</p>
<p><b>3/12 [日]</b> 大ホール U30割 CLASS 復 ☺</p> <p>沼尻竜典指揮 新日本フィルハーモニー交響楽団 16:00開演 全席指定 S席5,000円、A席4,000円、B席3,000円</p> <p>シアターメイツ優先予約:12月8日(木) 一般発売:12月11日(日)</p>	<p><b>3/19 [日]</b> 中ホール U30割 復 ☺</p> <p>人形浄瑠璃 文楽(字幕付き) 【昼の部】13:00開演【夜の部】17:00開演 全席指定 S席3,500円、A席2,500円 昼夜通し券 S席6,000円、A席4,000円 共催:公益財団法人文楽協会</p> <p>シアターメイツ優先予約:12月15日(木) 一般発売:12月18日(日)</p>	<p><b>お得にチケットを買うなら!</b> <b>特典</b></p> <p><b>シアターメイツ会員</b> 年会費(3,000円)制の会員。優先予約あり! 対象公演のチケットは何枚でも10%割引!さらに「Mnews」も自宅へお届け!</p> <p><b>エムズネット会員</b> インターネットユーザー向けの無料会員。 対象公演のチケットは何枚でも5%割引で、公演当日会場受取OK! お得なセール情報がメルマガで届く! ※会員制度の詳細については、ホームページ等をご覧ください。</p>

ご予約・お問い合わせ WEBチケット購入エムズネット 24時間受付 <https://p-ticket.jp/center-mie/>

三重県文化会館チケットカウンター TEL059-233-1122(営業時間 10:00~17:00)

掲載している催し物は8月30日時点の内容です。諸般の事情により、掲載している催しに変更(中止・延期)になる場合があります。詳細は主催者へお問い合わせください。また本紙発行時点でチケットが完売の場合もございます。ご了承ください。

主催 三重県総合文化センター主催事業 U30割 30歳以下は当日年齢証明提示で割引 ☺ 学生向けサービス 25歳未満の学生に限り当日の空席を1,000円で販売します。 復 …終演後に津駅西口行きの臨時バス運行 ※往路バスの運行は終了しました。  
☺ 託児サービス このマークのある公演に適用されます。託児の申込は全て予約制(生後3か月から就学前まで) 公演2週間前までにお申し込み下さい。 ☺ そうぶんバスツアー 東紀州地域からの往復バスツアー 事前申込制・先着順 お問い合わせ TEL059-233-1105  
CLASS クラシック後半割 休憩後からのご入場で定価の半額。当日、開演後に発売いたします。(事前のお申し込みはできません。完売の場合は販売いたしません。) ☺ …問い合わせ先 ☺ 英字プログラム有 ☺ 点字プログラム有 ☺ 手話通訳有  
※☺赤外線補聴システムをご利用いただける催し物もございます。詳細は施設利用サービスセンターまでお問い合わせください。(フリーダイヤル0120-319-489)

### 舞台芸術のスタッフワーク

株式会社 アイ・ステージカンパニー 有限会社 現場サイド  
有限会社 アクティブ 株式会社 シーシーワーク  
有限会社 アトリエ 有限会社 ジーボックス  
有限会社 origami 有限会社 ステージコラボレーションIGA  
有限会社 グローバルステージ 有限会社 PRISM  
合同会社 CROSSOVER 株式会社 ケイ・スタッフ 有限会社 レイルロード

**三重県舞台管理事業協同組合**  
<http://www.miebukyo.or.jp>  
059-229-8843 office@miebukyo.or.jp

『三重テレビアプリ』をダウンロードして  
三重県の情報をキャッチしよう!

①日々の気になる…ニュースやお天気、交通情報など  
②いざという時も…災害時などの気象警報や重大ニュース  
③お楽しみ…プレゼントへの応募や番組への投稿

Android iOS

そのほか 三重県の情報を配信!

三重テレビNEWS @miev 三重テレビ放送 @mie\_television 三重テレビ放送 @miev\_announcer  
エムっとくん @Mttokun 三重テレビアナウンサー @miev\_announcer

MTU 三重テレビ放送

SNSでお得な情報発信中!

f t LINE IG

QRコード


オフィスの事なんでもおまかせ

株式会社 **チカガワ**  
津市西丸之内6-5(新町通り) TEL:059-228-4228

<b>3</b> [木・祝]	<b>第16回 ジュニアピアノコンクール・オーディション三重本選会</b> 12:15開演(12:00開場)予定 入場無料 ◎日本ピアノ研究会 三重支部 059-225-6779(山村)	小 ホール
<b>5</b> [土]	<b>ジャズコンサート TOKUカルテット</b> 18:30開演(18:00開場) 全席指定 4,000円 ◎三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122	小 ホール
<b>6</b> [日]	<b>誰もが楽しい狂言講座</b> 14:00開講(13:30開場) 全席自由 500円 ※事前申込制 ※1/14狂言公演のチケット提示にて無料 ◎三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122	小 ホール
<b>9~13</b> [水]~[日]	<b>津西地区ふれあい創作展2022</b> 9:30~17:00(最終日は9:30~14:00) 入場無料 ◎津西地区ふれあい創作展実行委員会 059-229-6190(笹山)	1 ギャラリー
<b>10~16</b> [木]~[水]	<b>半泥子のワンダーランド千歳山荘</b> 9:00~17:00(最終日は9:00~16:00) ※13日は多目的ホールにて講演会あり 入場無料 ◎半泥子と千歳山の会 090-1236-1144(宮本)	2 ギャラリー
<b>12</b> [土]	<b>三重県文化会館Produceシリーズ vol.11 5台ピアノ ピアノ・ツィルクス</b> 14:00開演(13:30開場) 全席指定 2,000円 ◎三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122	大 ホール
<b>12</b> [土]	<b>第20回 天天二胡会 発表会</b> 13:00開演(12:30開場)予定 入場無料 ◎天天二胡会 090-1833-4752(梁天任 りょう てんにん)	小 ホール
<b>12</b> [土]	<b>津西地区 ふれあいコーラスのひろば2022</b> 13:00開演(12:30開場) 入場無料 ◎津西地区コーラスのひろば連絡会 059-226-9863(藤原)	多目的 ホール
<b>13</b> [日]	<b>創立70周年記念 第65回 三重ヴォークス ポーナ 定期演奏会</b> 一津高等学校音楽部を迎えて 15:00開演(14:30開場) 全席自由 一般1,000円、高校生以下500円(前売・当日とも) ◎三重ヴォークスポーナ 090-2770-1122(宇陀)	大 ホール
<b>13</b> [日]	<b>おしゃべり古典サロン vol.10 「仮名手本忠臣蔵」三段目~四段目</b> 14:00開演(13:30開場) 全席自由 1,000円 ◎三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122	小 ホール
<b>13</b> [日]	<b>半泥子の人、陶芸、千歳山</b> 13:30開演(13:00開場)予定 入場無料 ◎半泥子と千歳山の会 090-1236-1144(宮本)	多目的 ホール
<b>17</b> [木]	<b>ワンコインコンサート vol.125 弦楽四重奏 エスメ弦楽四重奏団</b> 11:30開演(10:45開場) 全席指定 500円 ◎三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122	大 ホール
<b>19</b> [土]	<b>第75回全日本合唱コンクール全国大会 大学職場一般部門</b> 大学ユースの部・室内合唱の部 10:00開演(9:30開場)予定 全席自由 3,800円(前売・当日とも) ※未就学児入場不可 ◎三重県合唱連盟 miechorus@yahoo.co.jp(土井)	大 ホール
<b>20</b> [日]	<b>第75回全日本合唱コンクール全国大会 大学職場一般部門</b> 同声合唱の部・混声合唱の部 10:00開演(9:30開場)予定 全席自由 3,800円(前売・当日とも) ※未就学児入場不可 ◎三重県合唱連盟 miechorus@yahoo.co.jp(土井)	大 ホール
<b>23</b> [水・祝]	<b>韓国エンターテインメント「FLYING」</b> 世界で話題のアクロバット・パフォーマンス、日本初上陸! 15:00開演(14:30開場) 全席指定 S席6,200円、A席5,700円(前売・当日とも) ◎MIN-ON中部センター 052-951-5391	大 ホール
<b>23</b> [水・祝]	<b>雅楽レクチャー「雅楽はすごい!」第四回</b> 14:00開講(13:30開場) 全席指定 1,000円 ◎三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122	中 ホール
<b>23</b> [水・祝]	<b>三重県ユニセフ協会設立10周年記念事業</b> ~みんなで達成しようSDGs~ 10:00~16:00 入場無料 ◎三重県ユニセフ協会 059-273-5722	2 ギャラリー
<b>24</b> [木]	<b>ポルノグラフィティ 18th ライヴサーキット「暁」</b> 18:30開演(17:30開場) 全席指定 9,900円 ◎サンデーフォークプロモーション 052-320-9100	大 ホール

<b>24</b> [木]	<b>第368回例会 俳優座劇場プロデュース 音楽劇「人形の家」</b> 18:30開演(18:00開場) 会員制 ◎津演劇鑑賞会 059-228-9523(中島)	中 ホール
<b>4</b> [日]	<b>太田弦指揮 新日本フィルハーモニー交響楽団</b> 16:00開演(15:30開場) 全席指定 S席5,000円、A席4,000円、B席3,000円 ◎三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122	大 ホール
<b>4</b> [日]	<b>第29回 三重大学ダンス部自主公演『からだから29』</b> 16:30開演(16:00開場)予定 全席自由 1,000円(前売・当日とも) ◎三重大学ダンス部 090-3562-5257	中 ホール
<b>10</b> [土]	<b>ピバ!NIPPON!2022 絶景プロデューサー 詩歩 「死ぬまでに行きたい!世界の絶景」を探して一好き×シゴトの見つけかたー</b> 13:30開演(13:00開場) 入場無料 ※事前申込制・先着順 ◎三重県生涯学習センター 059-233-1151	小 ホール
<b>10・11</b> [土]・[日]	<b>第七劇場「メディア」</b> 両日共14:00開演(13:30開場) 全席指定 一般3,000円(当日3,500円)、22歳以下1,500円 ◎三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122	中 ホール
<b>10~18</b> [土]~[日]	<b>第8回 三重の作家たち展2022</b> 10:00~17:00(最終日は10:00~15:00) ※月曜休館 ※入場は閉場30分前まで 一般300円(シアターメイツ会員50円割引) ※学生無料 ◎三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122	1・2 ギャラリー
<b>11</b> [日]	<b>第54回 白子高等学校吹奏楽部 定期演奏会</b> 14:00開演(13:20開場) 全席自由 1,000円(前売・当日とも) ※当日券は前売りの状況により販売しない場合もあります。 ◎三重県立白子高等学校 059-386-0017(齋田、迫田、大野)	大 ホール
<b>16</b> [金]	<b>ワンコインコンサート vol.126 ジャズピアノ 奥田弦</b> 11:30開演(10:45開場) 全席指定 500円 ◎三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122	大 ホール
<b>17</b> [土]	<b>アーサーホーランド クリスマスコンサート</b> 14:00開演(13:30開場) 入場無料 ◎ペテルリバーサイドチャペル 070-3611-0824・bit.rc3161@gmail.com	中 ホール
<b>18</b> [日]	<b>第37回 三重音楽祭「第九」3年ぶりの「歓喜の歌」をご一緒に</b> 14:00開演(13:15開場) 全席指定 S席2,500円(当日2,800円)、 A席2,000円(当日2,300円)、B席1,000円(当日1,300円) ※未就学児入場不可 ◎三重音楽祭実行委員会 059-230-2133	大 ホール
<b>18</b> [日]	<b>グランプリコンサート代替公演2022 打楽器集団「男群」</b> 14:00開演(13:30開場) 全席指定 2,000円 ◎三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122	中 ホール
<b>21</b> [水]	<b>三重のまなび2022 まなびいすとセミナー 楽楽文楽塾 ~文楽のツボ~</b> 14:00開演(13:15開場) 受講料 1,000円 ※事前申込制・先着順 ◎三重県生涯学習センター 059-233-1151	小 ホール
<b>23</b> [金]	<b>ディズニー・オン・クラシック まほうの夜の音楽会 2022</b> 19:00開演(18:00開場) 全席指定 S席8,700円、A席7,700円、B席6,700円、C席5,200円 ◎三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122	大 ホール
<b>24</b> [土]	<b>三重大学管弦楽団 第58回定期演奏会</b> 14:00開演(13:15開場)予定 全席自由 1,000円(前売・当日とも) ※招待券あり ◎三重大学管弦楽団 070-1259-2493	大 ホール
<b>25</b> [日]	<b>かるみーといっしょ!【鉄道開業150周年】夢に向かって出発進行! 知ってる?鉄道のしごと</b> 13:30開演(13:00開場) 入場無料 ※事前申込制・先着順 ◎三重県生涯学習センター 059-233-1151	多目的 ホール
<b>25</b> [日]	<b>社交ダンスパーティ</b> 13:00~16:00 参加費 1,000円 ◎サンデーダンスサークル 090-3425-0353(水谷)	2 ギャラリー

8月30日時点での情報です。諸般の事情により、掲載している催しが変更(中止・延期)になる場合があります。詳細は主催者へお問い合わせください。

三重県総合文化センター イベント 検索 

**同時開催!**  
**そうぶんの竹あかり / パープル・ライトアップ 2022**  
 11月10日(木) ~ 11月27日(日) 17:00 ~ 21:00 雨天決行 / 入場無料  
 場所: 三重県総合文化センター 祝祭広場・知識の広場  
 演出: 川瀬皓平 (canaarea)



写真: 新井良規

11月12日~25日の「女性に対する暴力をなくす運動」期間に合わせて、シンボルカラーの紫色にライトアップします。

人と地域に寄り添い 同じ未来を見つめる銀行。

お気軽にご相談ください。  
 (資産運用 住宅ローン ビジネスローン)

**百五銀行**  
 FRONTIER BANKING  
 インターネットホームページ <https://www.hyakugo.co.jp/>



中部電力パワーグリッド

強風で飛ぶモノは 停電の原因になるモノです

風で飛びそうなものは、固定するなどのご協力をお願いします。  
 [停電に関するお問い合わせ] Tel:0120-985-232 受付時間:年中無休





現代劇、伝統芸能、バレエ・ダンス、ミュージカル、オペラなどについて執筆。第10回日本ダンス評論賞第一席。ウェブマガジン『ONTOMO』で聴覚面から舞台を紹介する『耳から“観る”舞台』、バレエ雑誌『SWAN MAGAZINE』で『バレエファンに贈る オペラ万華鏡』、バレエ専門ウェブメディア『バレエチャンネル』で『ステージ交差点』を、ウェブサイト『タイムアウト東京』で対談シリーズ『STAGE CROSS』を連載中。

撮影：中村悠希

高橋彩子 演劇・舞踊ライター

Ayako Takahashi

Performing arts vol.6

## 清新な音楽と現代に開かれた演出の妙

モーツァルトは女性の味方だ、とよく言われる。女性の立場や思いが生き生きと描かれ、女性をひどい目に合わせた男性は懲らしめられることも多いからだ。詩人ロレンツォ・ダ・ポンテの台本に基づく『フィガロの結婚』や『ドン・ジョヴァンニ』はその好例だろう。しかしそんなモーツァルトが最後に書いた『魔笛』は、少し趣の異なる作品だ。

物語は、大蛇に襲われた王子タミーノが森で夜の女王に仕える3人の侍女に救われるところから。侍女達に夜の女王の娘パミーナの肖像画を見せられて一目惚れしたタミーノは夜の女王から、ザラストロにさらわれた娘を助けてほしいと頼まれて快諾。鳥刺し(鳥を捕獲し売って生活をする人)のパパゲーノと共に、侍女に紹介された3人の童子達に導かれ、ザラストロの神殿へ向かう。しかしパパゲーノはタミーノと途中で別行動を取り、パミーナと出会う。タミーノのことを聞き、パパゲーノと連れ立って神殿へ向かうパミーナ。一方、先に神殿に着いたタミーノはザラストロこそが正しい導き手だと聞かされる。パミーナとパパゲーノもほどなく到着し、タミーノとパミーナは恋に落ちる。パミーナを得るため、タミーノは試練を受けることに。まずは「沈黙」の試練だ。理由を知らないパミーナはタミーノが口を開いてくれないので絶望するが、タミーノはやり遂げる。次にタミーノとパミーナは「火」と「水」の試練を一緒に乗り越える。パパゲーノもまた、パパゲーナという伴侶を得る。人々はザラストロを、そしてイシス神とオシリス神を讃えるのだった。

大衆芝居を上演する一座を率いていた俳優、歌手、演出家、興行主のシカネーダーが、自身の小さな劇場の演目としてモーツァルトに依頼しただけあり、大衆的な歌芝居の形式となっている『魔笛』。また、シカネーダーもモーツァルトも秘密結社フリーメイソンの会員であり、その神秘主義的思想も反映されて、複雑な宇宙が形作られている。とはいえ、夜の女王とザラストロの正悪の極端な逆転ぶりや、沈黙の試練について説明すらしてもらえないパミーナの姿には、モーツァルトの他のオペラに溜飲を下げた人も少なからずモヤモヤするのではないだろうか。

だが、オペラの面白さは、音楽の美しさだけでなく、時代時代の演出によって様々な解釈が楽しめるところにある。10月に来日するハンガリー国立歌劇場のマイクロシュ・シネタール演出『魔笛』は、決して奇抜な舞台ではないのだが、一つの納得できる回答を見せてくれるだろう。タミーノとパパゲーノを導く3人の童子のうち、1人はタミーノ、もう1人はパパゲーノにそっくりの服装なのだが、残る1人はブルーのシャツにジーンズ姿。この姿こそ、ドラマのラストを示唆している。そして何より、そのラストに向けてパミーナが取る行動に注目。

コロナ禍を迎えてから、オペラの本格的な引越し公演は3年半、途絶えている。久々に実現するハンガリー国立歌劇場の日本公演で、いつ聴いても清新なモーツァルトの音楽と、現代に向かって開かれた演出の妙を、味わおう。



©Valter Berecz

**10/28[金] 大ホール**

**ハンガリー国立歌劇場**  
**オペラ「魔笛」**

18:30開演(18:00開場) 全席指定  
S席13,000円、A席10,000円、B席7,500円、C席5,000円  
30歳以下20%割引  
■三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122



気軽に楽しむ文化のレクチャー

1977年生。武蔵野市民文化会館のクラシック音楽担当を約10年務め、独特な企画やチラシを量産した。MCS ヤング・アーティストで3年勤務したのち2022年8月オフィス山根を設立。これまで200組を超える海外アーティストを招聘し1000公演以上のコンサート企画実施に関わる。著書に『歴代作曲家ギャラ比べ』『歴代作曲家ギャラ比べ2～名曲誕生の裏事情』(学研プラス)。全国で講座も開催。世界の音楽ニュースをゆるく解説するブログは基本的に毎日更新。  
<https://officeyamane.net/>



山根悟郎 コンサートプロデューサー&文筆業

Goro Yamane

Music vol.2

## 不機嫌な男、ラフマニノフの濃厚ロマン

ラフマニノフの音楽は濃いめです。ロマン的な要素が分厚く塗り込まれていて、情熱と美旋律に溢れています。それが人気の理由の一つですが、その一方で「甘すぎる」と感じる方もおられるようです(ちなみにチャイコフスキーについても同様の印象を持つ方がおられるとか)。

ピアノ協奏曲第3番も大変ロマンチックです。この作品は、超人的な技量を持つピアニストだったラフマニノフ自身の演奏をまず前提としていることもあって、ピアノ演奏技術の限りがつきまわっていますが、雄大で憂いに満ちた美しい旋律がつつぎと繰り出される「甘〜い」音楽でもあります。

ラフマニノフが活躍した20世紀初頭、クラシック音楽の主流は急進的で難解な作風へと突き進んでいました。例えばラフマニノフとほぼ同じ年のシェーンベルクというウィーンの作曲家が、クラシック音楽のあり方を根幹から揺さぶる革新的な理論(めちゃくちゃ難解な内容です)を打ち立てるなどして、ラフマニノフのような作品は時代遅れと見なされることもありました。20世紀のある大ピアニストがラフマニノフの音楽に低評価を下している言葉も残されています。

しかし一般的な人気や演奏される回数は今も昔もシェーンベルクより圧倒的にラフマニノフに軍配が上がります(シェーンベルクを貶めたいわけではありませんのでどうぞ誤解なきよう)。なぜ“時代遅れ”の音楽が人気なのか。それはそもそも、人間は本質的に「甘いものが好き」だからなのではないか、と私は思っています。また、見た目はハードボイルドでも実は密かにスイーツが好き♡という落差やギャップもまた人々に好まれるようですが、ラフマニノフにもそれが当てはまります。右上のものを含め多くの写真でしばしば不機嫌そうな表情をしていますが、作品は濃厚&甘美なのです。このギャップがたまらない。

甘かろうが辛かろうが、ネバネバしていようがあつさりしていようが、それだけをもって良し悪しを断じることはできません。多くのラフマニノフ作品は確かに甘い。時にとろけるようです(もちろん甘くない曲もあります)。しかしただ単にこれでもかと砂糖をまぶしただけでは上質の甘さであり、飽きが来ることはありません。

そしてその甘い音楽にはケーキなどのスイーツと決定的に違う大きな利点の一つがあります。いくら食べても(聴いても)全く太らないのです!おっっっ!!(取ってつけたような事を書いてしまいました)

**12/4[日] 大ホール**

**太田弦指揮**  
**新日本フィルハーモニー交響楽団**

16:00開演(15:30開場)  
全席指定 S席5,000円、A席4,000円、B席3,000円  
30歳以下10%割引  
■三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122



©ai ueda



©T.Tairadate

【予定曲】  
ラフマニノフ/ヴォカリーズ、ピアノ協奏曲第3番 二短調 作品30  
チャイコフスキー/交響曲第5番 ホ短調 作品64

三重県各地から京都・大阪(梅田)・東京・横浜・埼玉方面へ  
**高速バスを好評運行中**

安全 安心 快適に…

車内抗菌・抗ウイルス加工済  
外気導入空調による換気を実施  
(概ね5分で車内空気を入れ替え)  
フリーWi-Fi、充電用USB、トイレ付車両

●ご予約はこちら  
三交高速バス予約センター  
TEL059-229-5555

**鈴鹿医療科学大学**  
SUMS

保健衛生学部 ●臨床検査学科※  
●放射線技術科学科 ●医療栄養学科  
●リハビリテーション学科 ●医療福祉科学科  
●鍼灸サイエンス学科 ●救急救命科学科

医工学部 ●臨床工学科 ●医療健康データサイエンス学科

薬学部 ●薬学科 ※2023年4月臨床検査学専攻を臨床検査学科に改組予定(構想中)。内容は予定であり、変更する場合があります。

看護学部 ●看護学科

大学院 ●医療科学研究科 ●薬学研究科

■千代崎キャンパス ■白子キャンパス ■東京サテライト■

**モクモク道楽農場レストラン**

古民家を修繕したゆったりとした落ち着きのある空間の中で、モクモクをはじめ、地元の生産者さんから届いた食材を使った料理が並ぶバイキング形式のレストランです。ご家族やご友人、グループなどのお食事、個室でお子様連れ様のご予約も承っております。モクモクの地ビールなどが楽しめる飲み放題プランなどもご用意しております。

ランチタイム 平日 11:00~15:30 土日祝 11:00~16:00  
ディナータイム 平日 17:30~21:00 土日祝 17:00~22:00

料金 (税込)  
小学生以上 1,920円  
小学生 1,100円  
3歳以上 550円  
65歳以上 1,270円 ※3歳未満は無料

津市一身田上津部田3005-2 山の手テラス内 電話059-236-0909  
毎週水曜日は定休日です。(祝日除く) 詳細はHPをご覧ください。



物の輸送だけでなく、お客様のニーズも運ぶ  
物流のスペシャリストとして挑戦し続けます。



株式会社 日硝ハイウエー  
津市戸本町4857-13 TEL.059-254-5900



**TOTO特約店**  
各種住宅設備機器  
建築資材  
空調機器  
電材  
管工機材  
販売・施工  
リフォーム工事



株式会社 東晋商事  
本社 津市高茶屋小森上野町2793-1  
Tel.059-234-2771  
伊勢営業所 伊勢市鹿海町1625-1  
Tel.0596-23-5501

**三重県立美術館 企画展示観覧割引券**  
Vol.139  
**岡田米山人と半江展**  
本券で対象企画展の観覧券が100円引きになります。  
有効期間：2022年9月23日～11月6日まで  
発行：三重県総合文化センター  
1人1枚有効

**MieMu 企画展示観覧割引券**  
Vol.139  
**三重の円空**  
本券で対象企画展の観覧券が100円引きになります。  
有効期間：2022年10月8日～12月4日まで  
発行：三重県総合文化センター  
1人1枚有効

## 三重県立美術館

津市大谷町11 TEL059-227-2100 FAX059-223-0570 開館時間：9:30～17:00(入館は16:30まで)  
休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始 ホームページ：<https://www.bunka.pref.mie.lg.jp/art-museum/>



### 岡田米山人と半江展

江戸時代の大坂に、あるお米屋さんの親子がいました。父の名は岡田米山人(1744～1820)、子の名は岡田半江(1782～1846)といひます。父の米山人は、精米作業をしながら読書をしたと伝えられるほど、勉学に励んだといひます。そして、40歳頃に津藩に仕えることとなり、以来、親子2代にわたって津藩の大坂屋敷で働きました。

岡田父子は、藩務のかたわら、余暇に絵画を描きました。津藩に「お抱え絵師」として雇われたのではなく、大坂屋敷の実務を担う小吏(身分の低い役人)として採用されたと考えられています。ただ、ひとたび仕事を離れると、津藩の学者たちと親しく交友したようで、その交友の輪から生まれた合作書画なども残っています。藩の命令を受けて描く絵師ではなかったからこそ、自由で個性的な作品を描くことができたといひます。

今日、岡田父子は、江戸時代後期の代表的な文人画家として国内外の専門家から評価されています。一方で、その名が広く知られていないのは、岡田父子の展覧会が長らく開催されていないためでしょう。今回の展覧会は、日本国内で46年ぶりの「岡田米山人と半江」展となります。(村上敬／三重県立美術館学芸員)



岡田米山人(秋山蕭寺図) 1807年 個人蔵 重要美術品

#### 開館40周年記念 岡田米山人と半江展

会期：9月23日(金・祝)～11月6日(日)  
観覧料：一般1,000(800)円、  
学生800(600)円、高校生以下無料  
( )内は前売及び20名以上の  
団体割引料金

### 生誕100年 元永定正展

具体美術協会(具体)は、1954年に関西を拠点に結成され、戦後日本の前衛美術を代表する存在として国際的にも評価されている芸術家集団です。具体のメンバーとして活躍した一人に、三重県伊賀市出身の画家、元永定正(1922～2011)がいます。三重県立美術館では、元永の個展を過去2回開催したことに加え、作品を収蔵し、この画家の顕彰に努めてきました。本年は、元永の生誕100年という節目の年にあたることから、特集展示を開催します。

今回の展示では、特に元永の郷里である伊賀という土地に焦点を当てます。1920年代半ば以降、伊賀出身の洋画家、奥瀬英三をはじめとして、伊賀在住の洋画家たちの活動が活発となりました。その中で学んだ濱邊萬吉のもとで、若き日の元永は絵を学びました。元永は1952年に神戸へ出て、やがて具体のメンバーとして活動するようになりますが、その源流には伊賀という土地で育まれた文化的素地があったのです。

伊賀から神戸へ、そして世界へと羽ばたいていった画家の生涯を美術館の所蔵品を中心に紹介します。(原舞子／三重県立美術館学芸員)

#### 特集展示 生誕100年 元永定正展

会期：9月6日(火)～12月11日(日)  
観覧料：一般310(240)円、学生210(160)円、高校生以下無料 ( )内は前売及び20名以上の団体割引料金



## 三重県総合博物館(MieMu:みえむ)

津市一身田上津部田3060 TEL059-228-2283 FAX059-229-8310 開館時間：9:00～17:00(入場は16:30まで)  
休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始 ホームページ：<https://www.bunka.pref.mie.lg.jp/MieMu/>



### 三重の円空展

江戸時代の初め、仏像をつくりながら諸国を旅した「円空」という僧侶がいる。彼が生涯をかけて彫った仏像は「円空仏」と呼ばれ、現代の人々にも高い評価を得ると同時に根強い人気を誇っている。実は円空については、出生地をはじめ仏像を制作するに至った経緯等、いろいろと不明なことが多い。全国各地にあれほどたくさん円空仏がありながら、その作者である円空については、ほとんど謎に包まれている。



聖観音菩薩立像(部分) 志摩市三蔵寺蔵

後世の伝記や円空仏に記された銘文等によってわずかにその足跡をうかがうことができるものの、それとて断片的で、特に仏像を造り始める寛文三年(1663)以前のことは、全くといっていいほどわからない。

円空は12万体の造仏を祈願したと伝えられ、仏像は現在5,000体以上確認されている。その多

くは岐阜県と愛知県にあるが、三重県内における円空の作例を見てみる時、他県にはない珍しい特徴がある。それは円空が描いた絵画がまともに残されている点である。

延宝二年(1674)の夏、円空は志摩地方を訪れ、当地に伝わる大般若経を補修しているが、その際、見返しの部分に絵(釈迦説法図)を描いている。それらは、志摩市志摩町片田と同阿児町立神の二ヶ所に残されており、最初は如来や菩薩の各尊を丁寧に描いているが、やがて奔放な構図へと大胆に変化していく。円空の作風が変化していく様子を目の前で見て感じることができる。本展では、展示替を行いながら円空の描いた貴重な絵画全点を展示する予定で、これはおそらく初めてのことかと思われる。

この時期、大般若経の絵の変化と呼応するかのように、円空の仏像にも作風の変化が見られることが指摘されている。初期の丁寧な仕上げを行う作風から、「木端仏」と呼ばれるような円空独自の作風へと変化していくのであるが、その大きな変化が志摩地方滞在の後に見られるようになってくるのである。円空の作風について考える時、志摩地方は意外に重要な役割を果たした地域といえるかもしれない。

三重県内には、現在、県外から移入されたものも含めて30体を超える円空仏が確認されている。本展では、志摩市志摩町片田・三蔵寺の聖観音菩薩立像、同阿児町立神・少林

寺の聖観音菩薩立像や護法神像、また、同市磯部町五知の薬師三尊像といった志摩市の作例を核にして、県内各地の円空仏約20体についても展示する予定である。三重に残る円空仏は、寺院を中心にして、地元自治会等が管理する堂や個人宅に伝わっているものであり、普段目にする機会は寡少である。ましてや経典の見返し部分に描かれた絵画となると、さらにその機会は少ないといえる。三重県における本格的な円空の展覧会は初めての事であり、是非とも総合博物館で、円空仏の魅力を実感・堪能していただければと思う。

(瀧川和也／三重県総合博物館学芸員)



大般若経見返し絵 志摩市阿児町立神自治会蔵

#### 三重県総合博物館 第32回企画展 三重の円空

会期：10月8日(土)～12月4日(日)  
観覧料：一般800(640)円、学生480(380)円、高校生以下無料  
基本展示とのセット観覧券：  
一般セット券1,050(840)円、学生セット券630(500)円  
( )内は20名以上の団体割引料金

## 三重県立図書館の書棚から。今号の博物館・美術館のテーマに関連する書籍をご紹介します



#### すぐわかる 画家別 近世日本絵画 の見かた

安村敏信／著  
東京美術  
2005.9  
721.0/ヤ 115730459

個性というのは、他の人と比べると際立つもの。それは絵画についても言えるのではないのでしょうか。とは言うものの、素人が作品だけを見て違いを知るのには難しいことです。そこで役立つのは鑑賞のポイントを教えてくれるガイドブック。この本は、桃山時代から幕末までに活躍した画家について、それぞれの特徴や面白さを教えてくれます。



#### 元永語録

増田喜昭／責任編集  
子どもの本専門店  
メリーゴーランド  
2018.10  
723.1/キ 117179465

この本は、元永と親交のあった増田喜昭氏(子どもの本専門店「メリーゴーランド」店主)が、残されたVTRやメモから言葉を選び出し、まとめたものです。元永が好きだったという紅色で装丁された本には、彼の絵に通じるようなユーモラスな言葉が並んでいます。展覧会で作品を楽しんだ後は、彼の残した言葉にも触れてみてください。



#### 円空を旅する

井上雄彦／著  
美術出版社  
2015.10  
721.1/イ 116993247

日本全国を旅しながら仏像を彫り続けた円空。生涯で約12万体の仏像を制作したとされています。マンガ家である井上雄彦さんが、北海道・青森県・岐阜県・愛知県・三重県を旅し、各地に残る約1,400体の仏像を訪ね歩きます。井上さんのスケッチに加え、円空についての基礎知識なども掲載されています。



#### やさしくわかる 仏像入門

向吉悠陸・中村佳陸／著  
ナツメ社  
2007.8  
718/ム 115957292

仏像にもさまざまな種類があることをご存知でしょうか。如来や菩薩など、細かい分類があります。初心者の方でも読みやすいように、それぞれの仏像の特徴を写真付きでわかりやすく解説しています。今まで何気なく見ていた仏像も、本書を読んだあとでは見方が変わってくるはず。仏像鑑賞が楽しくなる一冊です。

